

ぎゅう ほつ た け じゅう たく ほつ た こ じょう えん
 旧堀田家住宅 (堀田古城園)



主屋 (学習室)



茶室外観

旧堀田家住宅は、昭和8年(1933)にかっぱろりうてい
 割烹料亭として開業された木造家屋群で、武田氏館跡の存在を意識して「堀田古城園」と名付けられました。昭和初期の近代和風建築の様式で、建具やガラスなどもその当時のものがそのまま残されています。主屋、長屋棟、離れ3棟、木戸門があり、主屋は講座等を行う学習室や休憩場所として活用します。離れの1棟は菱形の建物で茶室として改修しています。長屋棟では飲食も楽しめますので、自由にご見学ください。



武田氏三代を始めとする武田氏館跡に関わった人々の歴史や移り変わり、この館跡の概要や見所、そして、戦国時代に武田氏領国の中心として栄えた「甲府」の様子を紹介しています。

特別展示室

発掘調査で明らかにされた戦国時代の武田氏館跡と甲府の町の構造や変遷を出土品とともに詳しく紹介しています。展示室奥の映像展示室では、若き日の武田信玄が登場し、武田氏館での

出来事や往時の姿を紹介しています。



其疾如風
 其徐如林
 侵掠如火
 不動如山

常設展示室

